

## ガーナ共和国国立ワクチン研究所と部局間交流協定締結

千葉大学未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点は11月27日、ガーナ共和国国立ワクチン研究所と部局間連携・協力に関する協定を締結した。

ガーナ共和国国立ワクチン研究所（NVI）は2021年に設立された。同研究所のCEOでガーナ大学野口記念医学研究所前ウイルス学部長である William Kwabena Ampofo 教授は、西アフリカの感染症克服を目指し、ガーナにおける下痢症・出血熱・HIV 感染症等の主要感染症のサーベランス体制構築・強化に貢献した。また、インフルエンザワクチン生産、予防接種、パンデミックインフルエンザ対策など、WHO のインフルエンザに関する諮問グループのメンバーとしても活躍している。

今回の協定は、両者の知見や強みの融合により、西アフリカ諸国で流行している感染症に対する粘膜ワクチン研究開発を通じた人材交流・人材育成などで連携協力を進めていくこととした。



(左から) William Kwabena Ampofo CEO と清野 宏 拠点長